

街歩きヒストリア



商店街に鎮座する胡子神社 写真：河野宏志さん

えべっさん

⑪

広島っ子の冬の訪れは、胡子神社の大祭・えびす講(通称「えべっさん」)から。毎年11月18日~20日の祭礼に併せて商店街の売り出しが行われ、福をかき集める「こまざらえ」(熊手)を手にした多くの人で賑わいます。

神社の始まりは1603年。町の繁栄と商売繁盛を祈願して吉田から「えびす神」を勧請したのが始まりで、町名の由来にもなりました。

原爆被災の年の秋には仮社殿を再建し、二度の建て替えを経て現在に至っています。(文・片山典子さん)

中央公民館エリア(白島、基町、幟町)の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」の公募で集まった制作スタッフが編集します。

「広島諸商仕入買物案内記」に見る明治前期の神社の様子(広島市郷土資料館蔵)



HP(検索：広島市中央公民館)にバックナンバーを掲載しています。ぜひご覧ください。